

天気マークの見方の説明

天気マーク▶					
DI水準▶	特に好転 25以上	好転 10~24	まあまあ 9~▲9	悪化 ▲10~▲24	特に悪化 ▲25以下

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合) ※()は前期(2014年10~12月)の調査結果

鹿児島商工会議所

景況調査

[2016年7月~9月]

業況は全業種で改善傾向 ↳来期の業況も回復の見込み

当商工会議所が実施した今期(平成28年7月~9月)の中小企業155社の景況調査結果によると、全産業の業況DIは▲2・6となり、前期(平成28年4月~6月)の業況DI▲13・5と比べて10・9ポイント改善した。

また、業況以外の項目でも、売上額はマイナス幅が縮小し、採算はプラス値に転じた。

業況を業種別にみると、全業種にお

	全産業		製造業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
業況	まあまあ ▲2.6 (▲13.5)	まあまあ 6.8 (▲6.1)	まあまあ ▲7.1 (▲9.1)	まあまあ 7.7 (▲3.3)
売上額	まあまあ ▲0.6 (▲15.1)	まあまあ 5.3 (0.0)	まあまあ ▲7.1 (▲12.1)	まあまあ 0.0 (9.4)
資金繰り	まあまあ ▲2.6 (▲3.5)	まあまあ ▲2.7 (▲0.6)	悪化 ▲10.7 (▲6.1)	まあまあ ▲3.6 (▲3.1)
採算	まあまあ 0.7 (▲11.0)	まあまあ 1.3 (0.0)	まあまあ ▲3.7 (▲12.1)	まあまあ 0.0 (3.1)

いて前期より改善しており、中でも建設、卸売、サービス業は、10ポイント以上回復する結果となった。また、小売、製造業においては2期連続での改善となった。

来期(平成28年10月~12月)の全産業の業況DI見通しは、6・8(前期比+12・9ポイント)となっており、熊本地震の影響からの回復や、年末商戦での売上増加による業況回復への強い

	建設業		卸売業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
業況	まあまあ 3.4 (▲16.7)	好転 10.3 (▲10.3)	まあまあ ▲8.0 (▲28.0)	好転 13.6 (▲8.0)
売上額	まあまあ ▲3.4 (▲34.5)	まあまあ 3.4 (▲25.8)	まあまあ ▲7.7 (▲40.0)	まあまあ 0.0 (▲12.0)
資金繰り	まあまあ 3.4 (▲3.3)	まあまあ 3.4 (0.0)	悪化 ▲11.5 (▲8.0)	まあまあ ▲8.3 (4.0)
採算	まあまあ 0.0 (▲19.4)	まあまあ 3.3 (▲16.1)	悪化 ▲16.0 (▲20.0)	好転 12.5 (▲8.0)

期待がうかがえる。回答先からは、「震災復興の加速化で、人材不足による工事遅延が懸念される」(建設業)、「顧客の高齢化により需要が低迷している」(サービス業)との声があった。その一方で、「WEB環境の整備や展示会出展による売上拡大策を強化したい」(小売業)、「売上向上のために社員教育を徹底したい」(卸売業)といったコメントも寄せられた。

	小売業		サービス業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
業況	まあまあ ▲3.4 (▲7.9)	まあまあ 3.4 (▲7.9)	まあまあ 0.0 (▲11.1)	まあまあ 2.5 (▲2.3)
売上額	好転 20.0 (▲2.6)	特に好転 27.6 (7.7)	まあまあ ▲4.9 (▲2.2)	まあまあ ▲2.5 (11.6)
資金繰り	まあまあ ▲6.7 (▲8.3)	まあまあ ▲3.6 (▲17.9)	まあまあ 7.3 (4.3)	まあまあ ▲2.4 (13.6)
採算	好転 10.3 (▲10.3)	まあまあ 3.4 (2.7)	まあまあ 7.3 (0.0)	まあまあ ▲7.5 (11.6)